

# 自殺実態調査 報告書

— 自死遺族からの聞き取り調査 —

平成21年3月



東京都福祉保健局



## はじめに

平成10年以降、全国の年間自殺者数は11年連続して3万人を超えており、都内においても、毎年2500名以上が自ら命を絶つという深刻な状況が続いています。

都は、平成19年度に自殺総合対策東京会議を設置し、自殺の事前予防、危機介入、事後対応の各段階における自殺対策の取組を進めているところですが、自殺対策を効果的に推進するためには、自殺の実態を知ることが重要です。

そこで、平成19年度に実施した「救急医療機関における自殺企図患者等に関する調査」につづき、平成20年度には、自殺に至る背景等を、遺族の声に耳を傾けることにより分析し、自殺防止のための対策や遺族支援のニーズを把握するため、自殺実態調査を実施することとしました。

調査の実施に当たっては、自殺実態調査「1000人の声なき声」に取り組む「特定非営利活動法人 自殺対策支援センター ライフリンク」に御協力いただき、自殺実態調査の実績・ノウハウを活かして、自死遺族の方々からの聞き取り調査を実施いたしました。

本書が、自殺対策に携わる関係の皆様にご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、50名を超える自死遺族の皆様にご調査に御協力いただきましたことに、厚く御礼申し上げますとともに、この調査で把握・分析した自殺の原因・動機や背景、遺された遺族の方々の状況などの調査結果を、都における今後の自殺対策を検討するための基礎資料として、広く活用してまいります。

平成21年3月

東京都福祉保健局

# 目 次

## はじめに

### 第1章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査内容	1
3 調査の対象	1
4 調査方法	1
5 調査の実施状況	2

### 第2章 調査結果

1 自殺者に関する調査の結果	
(1) 故人についての基礎情報	3
(2) 仕事・収入など	6
(3) 生活の様子	11
(4) 直前の変化	14
(5) 援助希求について	18
(6) 死去について	20
2 自死遺族に関する調査の結果	
(1) 遺族についての基礎情報	22
(2) 現在の生活	24
(3) 困ったこと・悩んだこと	25
(4) 直後の感情・体調など	27
(5) 現在の感情・悩みなど	31
(6) 周囲の反応・支援について	35
(7) 支援の要望	40

### 第3章 調査結果のまとめ

1 自殺者の実態	41
2 自死遺族の実態	42
3 自殺防止対策・自死遺族支援の方向性について	44

### 第4章 資料編

1 集計結果	
(1) 調査の対象者数	45
(2) 自殺者に関する調査結果	45
(3) 自死遺族に関する調査結果	60
2 調査票	
(1) 自殺者に関する調査票	83
(2) 自死遺族に関する調査票	87

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

自殺対策を効果的に推進するためには、自殺の原因・動機や背景、遺された遺族の状況など、自殺の実態を具体的に把握し、その実態に即した自殺防止策及び遺族支援策等の対策を講じることが必要である。

そこで、自殺の危険を早期発見し、効果的な危機介入を図るための対策や、遺族が必要とする効果的な遺族支援策などの対策を検討するための基礎資料を得るため、本調査を実施した。

## 2 調査内容

### (1) 自殺者に関する調査

- ・ 自殺者が、自殺に至る前の社会的、個人的な状況等を把握し、自殺の危険の早期発見や自殺防止のための危機介入ポイント等を明らかにする。

### (2) 自死遺族に関する調査

- ・ 故人が亡くなった後の、遺族の心情や生活状況等の実態を明らかにする。

## 3 調査の対象

2の調査内容について、それぞれの要件に該当する自殺者の遺族に対して調査を実施した。

### (1) 自殺者に関する調査

- ・ 自殺者が、亡くなった当時に、都内に在住しているか、あるいは都内に通勤・通学していた場合

### (2) 自死遺族に関する調査

- ・ 自殺者の遺族であって、調査時点において、都内に在住している場合

## 4 調査方法

### (1) 調査対象者の募集方法

- ・ 自死遺族向けのリーフレットを作成し、これに調査の趣旨と参加協力依頼について記載した書面をはさんで、監察医務院において遺族に対して配布した。さら

に、自殺対策や自死遺族支援に関するシンポジウム・講演会が開催された際などに、調査についての情報提供と調査への参加の呼びかけを行った。

- ・ 遺族から参加協力の申し出があった場合に、意向を確認したうえで、調査を実施した。

## (2) 調査実施期間

平成20年8月下旬～平成21年3月31日

## (3) 調査の方法

- ・ 調査員が二名一組となり、遺族への訪問面接により、「自殺者に関する調査」、「自死遺族に関する調査」のそれぞれ又はいずれかの内容についてのヒアリング調査を行った。

# 5 調査の実施状況

## (1) 調査の実人員（ヒアリングを行った遺族の人数）

訪問面接を行った自死遺族は、57名であった。

## (2) 自殺者に関する調査

遺族への訪問面接を行ったうち、亡くなった当時に都内に在住しているか、または都内に在勤・在学していた自殺者は、50名であった。

## (3) 自死遺族に関する調査

訪問面接を行ったうち、調査時点において、都内に在住している自死遺族は、38名であった。

## 第2章 調査結果

### 1 自殺者に関する調査の結果

自殺者に関する調査においては、亡くなったときに都内に在住または在勤・在学していた自殺者50人について調査を行い、生前に自殺者が置かれていた状況や、背景・体調等を把握した。

#### (1) 故人についての基礎情報

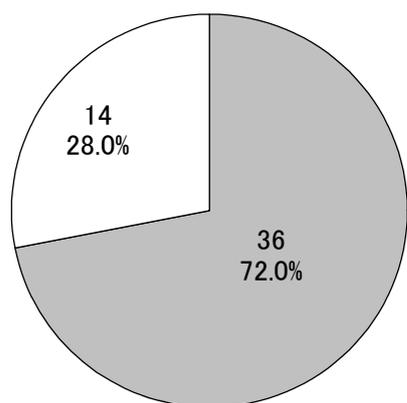
##### 1) 性別と年齢

故人の性別は、「男性」が36人(72.0%)、「女性」が14人(28.0%)であった。年代は「20代」が14人(28.0%)で最も多く、次いで「50代」が11人(22.0%)であった。

男性では「20代」と「50代」が最も多く、それぞれ9人(25.0%)、女性では「20代」が5人(35.7%)と多かった。

##### ■性別

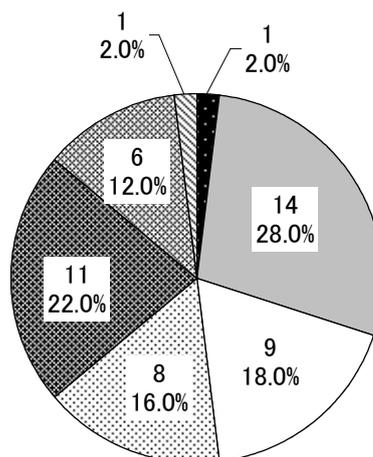
(n=50) (人)



■ 男  
□ 女

##### ■年齢

(n=50) (人)



■ 10代  
■ 20代  
□ 30代  
▨ 40代  
▩ 50代  
▧ 60代  
▦ 70代

単位: 人

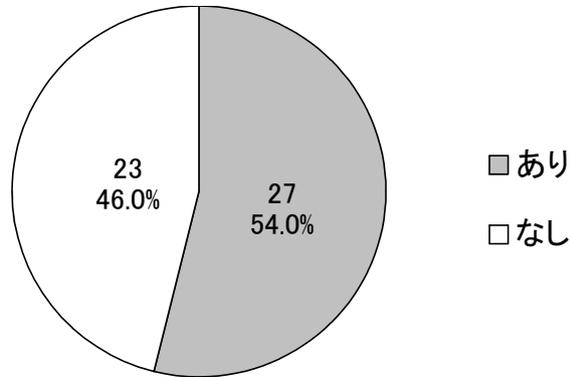
n=50	年代							全体
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総数
男	1 (2.8%)	9 (25.0%)	7 (19.4%)	7 (19.4%)	9 (25.0%)	3 (8.3%)	0 (0.0%)	36 (100.0%)
女	0 (0.0%)	5 (35.7%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	2 (14.3%)	3 (21.4%)	1 (7.1%)	14 (100.0%)
合計	1 (2.0%)	14 (28.0%)	9 (18.0%)	8 (16.0%)	11 (22.0%)	6 (12.0%)	1 (2.0%)	50 (100.0%)

## 2) 配偶者の有無

「配偶者あり」の方が27人(54.0%)、「配偶者なし」の方が23人(46.0%)で、「配偶者あり」の方がやや多かった。

年代別にみると、20代までは、全て「配偶者なし」であり、40代以降は「配偶者あり」の方が多くなっていた。

(n=50) (人)



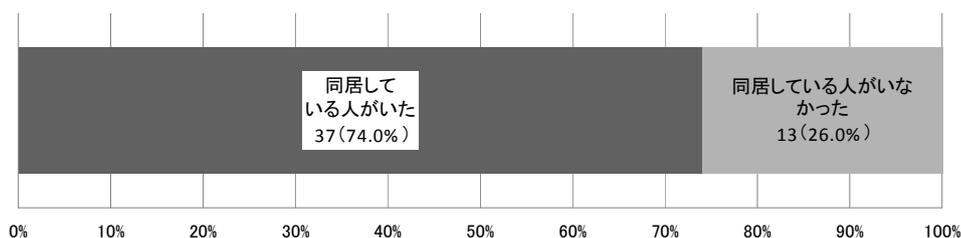
n=50	年代・性別														全体		
	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		総数		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
あり	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	1 (50.0%)	6 (85.7%)	1 (100.0%)	8 (88.9%)	1 (50.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	20 (55.6%)	7 (50.0%)	27 (54.0%)
なし	1 (100.0%)	0 (-)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	4 (57.1%)	1 (50.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	16 (44.4%)	7 (50.0%)	23 (46.0%)
合計	1 (100.0%)	0 (-)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	36 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

## 3) 同居人の有無

「同居している人がいた」方が37人(74.0%)、「同居している人がいなかった」方が13人(26.0%)であった。

年代別にみると、20代、30代の男性において、「同居している人なし」の割合が比較的高かった。

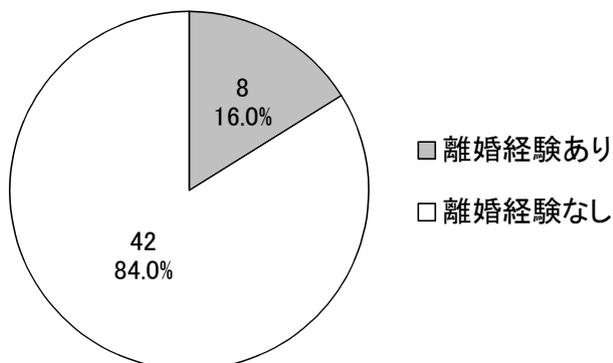
(n=50) (人)



n=50	年代・性別														全体		
	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		総数		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
あり	1 (100.0%)	0 (-)	6 (66.7%)	4 (80.0%)	4 (57.1%)	1 (50.0%)	6 (85.7%)	0 (0.0%)	7 (77.8%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	2 (66.7%)	0 (-)	1 (100.0%)	27 (75.0%)	10 (71.4%)	37 (74.0%)
なし	0 (0.0%)	0 (-)	3 (33.3%)	1 (20.0%)	3 (42.9%)	1 (50.0%)	1 (14.3%)	1 (100.0%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (-)	0 (0.0%)	9 (25.0%)	4 (28.6%)	13 (26.0%)
合計	1 (100.0%)	0 (-)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	36 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

#### 4) 離婚経験

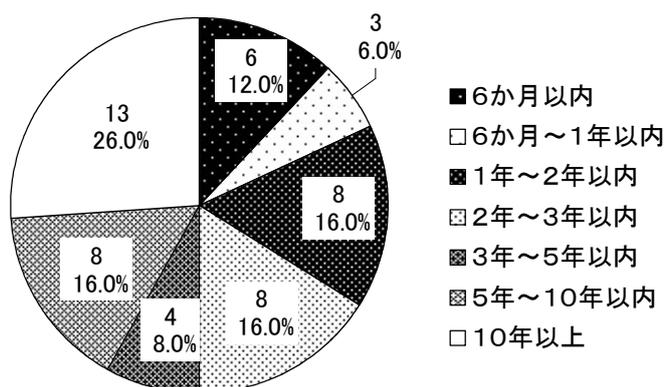
生前「離婚経験なし」の方は42人(84.0%)で、「あり」の方は8人(16.0%)であった。  
(n=50) (人)



#### 5) 死亡時期

調査時点において、死亡した時期が「10年以上前」の方が13人(26.0%)、「1年～2年以内」「2年～3年以内」「5年～10年以内」の方がそれぞれ8人(16.0%)、「6か月以内」の方が6人(12.0%)であった。

(n=50) (人)



n=50	人数(人)	割合(%)
6か月以内	6	12.0%
6か月～1年以内	3	6.0%
1年～2年以内	8	16.0%
2年～3年以内	8	16.0%
3年～4年以内	2	4.0%
4年～5年以内	2	4.0%
5年～6年以内	1	2.0%
6年～7年以内	1	2.0%
7年～8年以内	0	0.0%
8年～9年以内	1	2.0%
9年～10年以内	5	10.0%
10年以上	13	26.0%
合計	50	100.0%

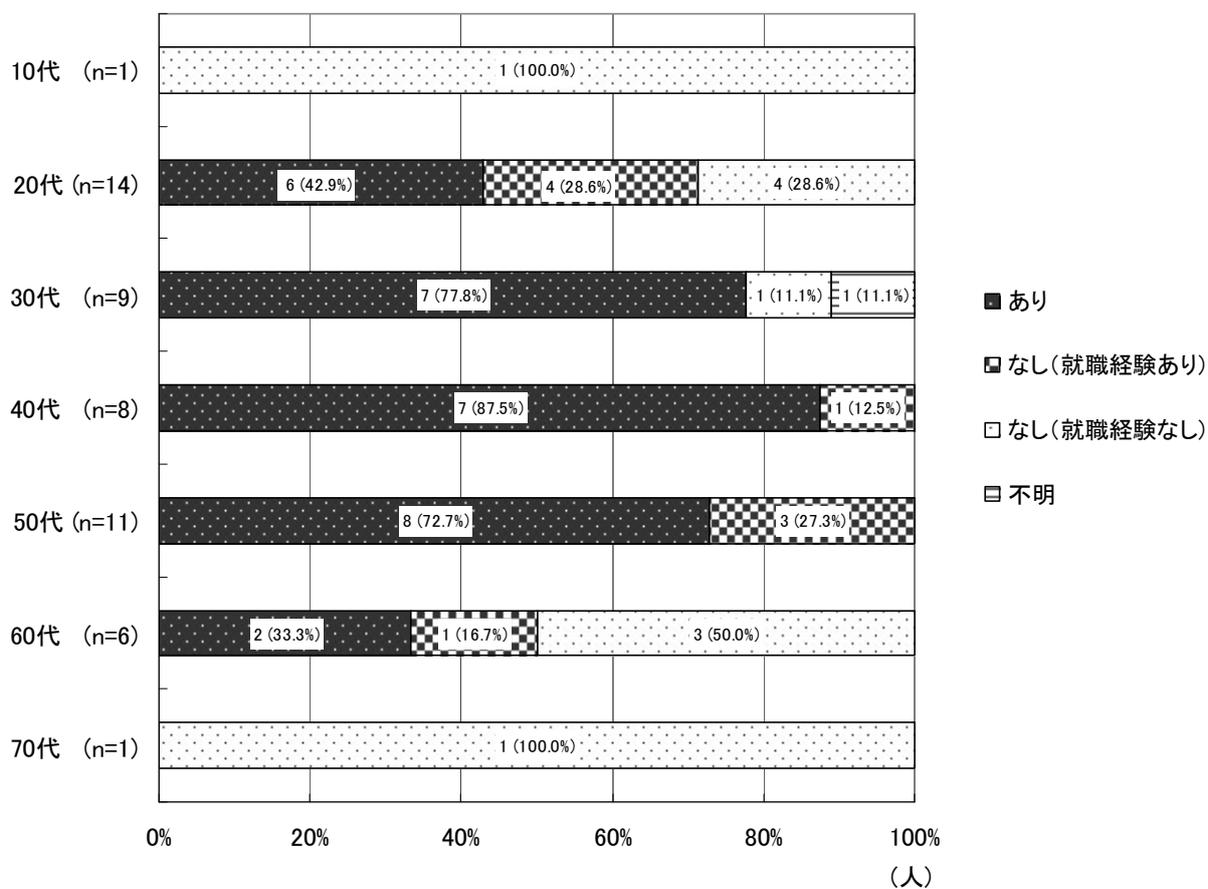
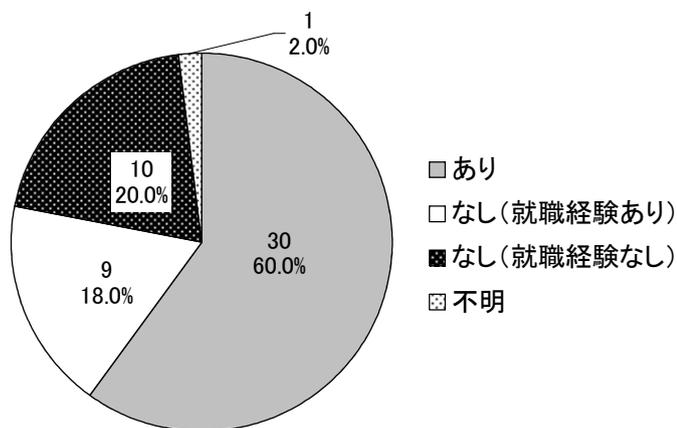
## (2) 仕事・収入など

### 1) 仕事の有無

亡くなられた時点において、仕事が「あり」の方は30人(60.0%)で、「なし(就職経験あり)」の方は9人(18.0%)、「なし(就職経験なし)」の方は10人(20.0%)、「不明」が1人(2.0%)であった。

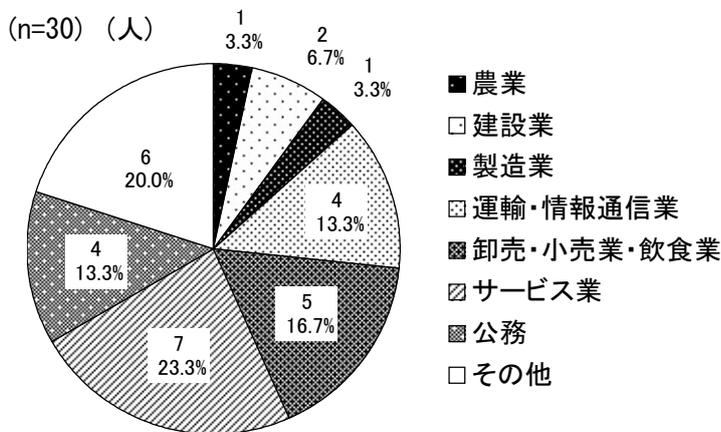
30代、40代、50代においては、仕事が「あり」の方が過半数であった。

(n=50) (人)



## 2) 業種・業界

仕事が「あり」の方の仕事の業種は、サービス業の方が7人(23.3%)と最も多く、次いで卸売・小売業・飲食業の方が5人(16.7%)、運輸・情報通信業と公務の方がそれぞれ4人(13.3%)の順であった。

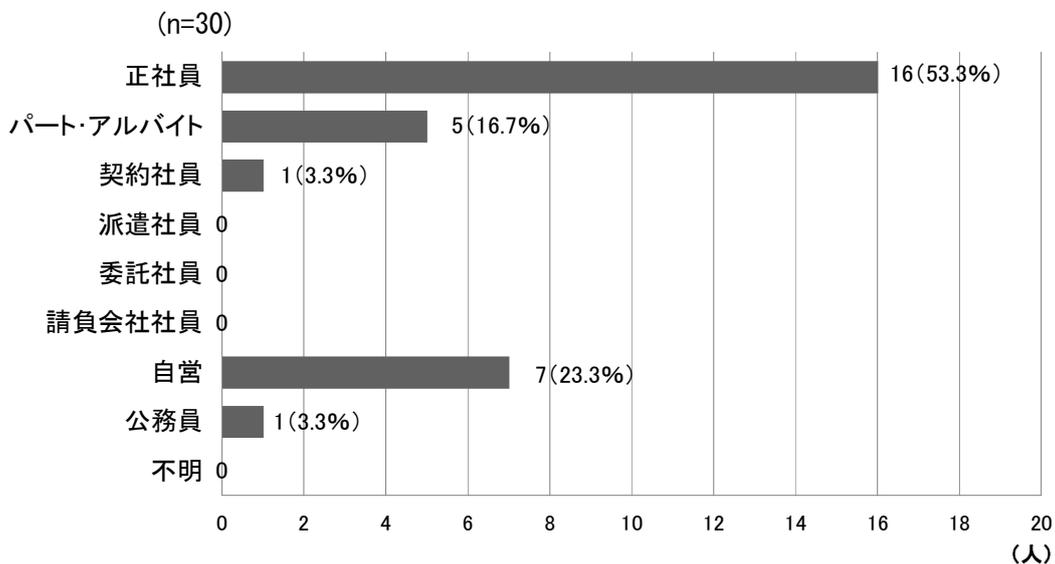


n=30	人数(人)	割合(%)
農業	1	3.3%
建設業	2	6.7%
製造業	1	3.3%
運輸・情報通信業	4	13.3%
卸売・小売業・飲食業	5	16.7%
金融・保険業	0	0.0%
不動産業	0	0.0%
サービス業	7	23.3%
公務	4	13.3%
不明	0	0.0%
その他	6	20.0%
合計	30	100.0%

※複数回答

## 3) 自営・社員区分

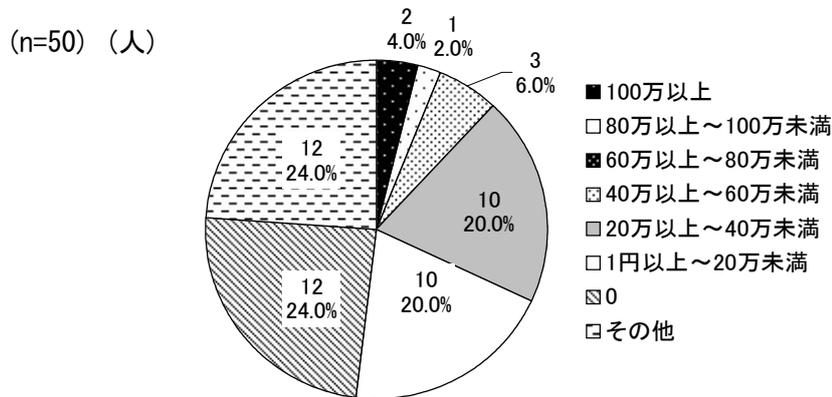
仕事が「あり」の方の生前の仕事区分については、正社員の方が16人(53.3%)と最も多く、自営業の方が7人(23.3%)、パート・アルバイトの方が5人(16.7%)であった。



※複数回答

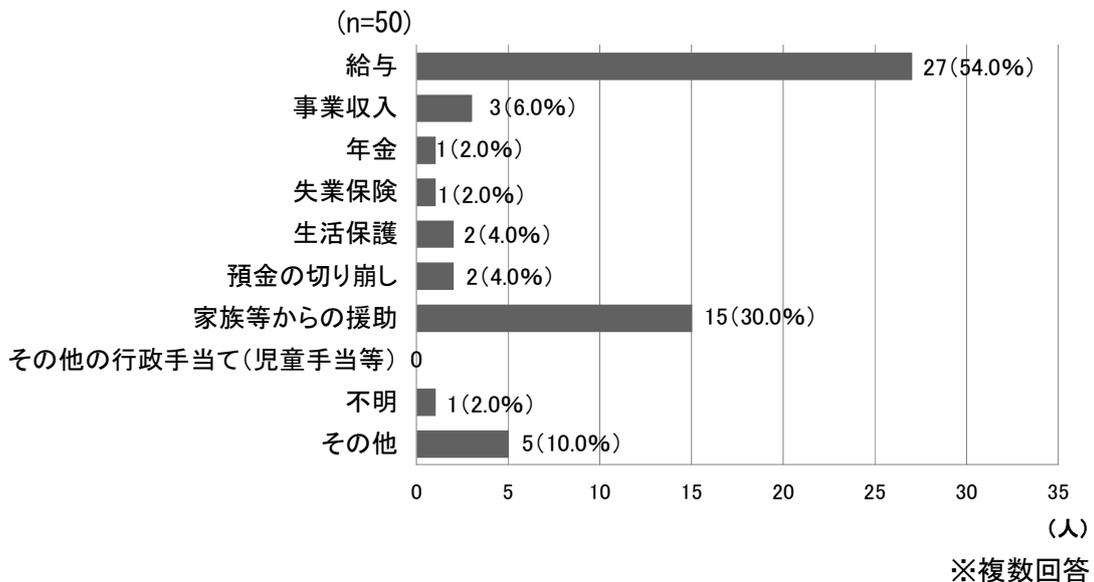
#### 4) 故人の総収入額

故人の月平均の手取りの総収入額は、その他を別にすると0の方が12人(24.0%)と最も多く、次いで20万未満、20万以上～40万未満の方がそれぞれ10人(20.0%)と多かった。



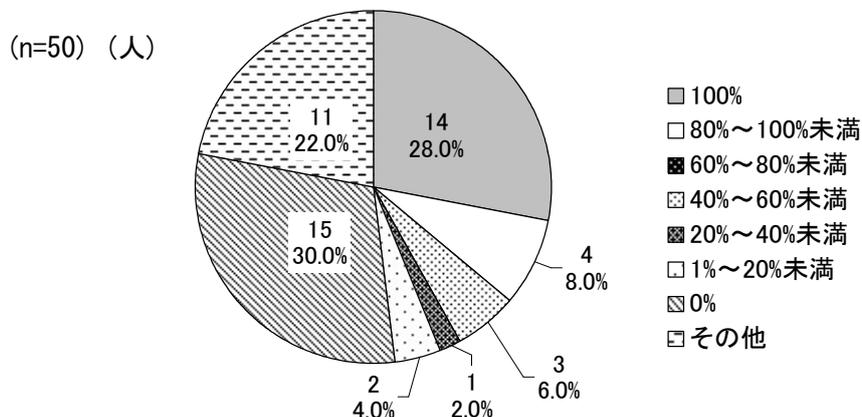
#### 5) 収入源

収入源としては、給与の方が27人(54.0%)、家族等からの援助の方が15人(30.0%)、その他が5人(10.0%)の順であった。



#### 6) 故人の収入が世帯の家計全体に占める割合

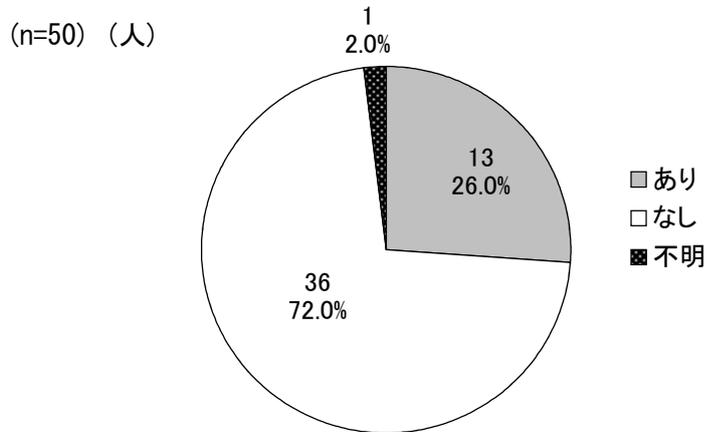
故人の収入が、世帯の家計全体に占める割合は、0%の方が15人(30.0%)、100%の方が14人(28.0%)とそれぞれ多かった。



## 7) 急激な収入の低下

自殺に関連すると思われる、急激な収入の低下は、13人(26.0%)の方が「あり」であった。

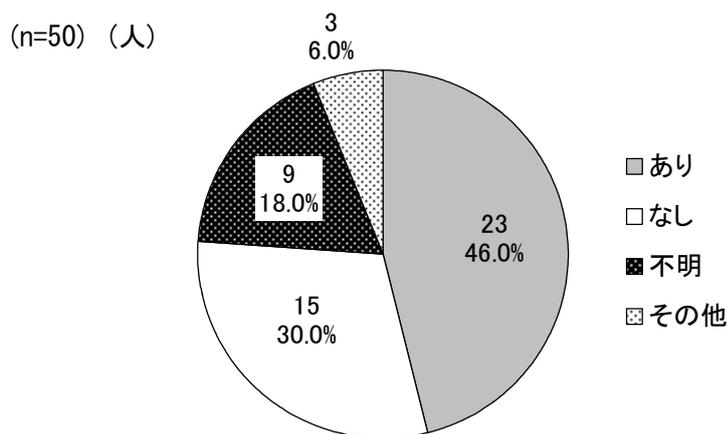
男女別にみると、女性では、急激な収入の低下は1件もなく、男性では、「60代」2人(66.7%)、「50代」5人(55.6%)、「40代」3人(42.9%)で「あり」の割合が高かった。



n=50	年代・性別														全体		
	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		男	女	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
あり	0 (0.0%)	0 (-)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	5 (55.6%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	13 (36.1%)	0 (0.0%)	13 (26.0%)
なし	1 (100.0%)	0 (-)	8 (88.9%)	5 (100.0%)	4 (57.1%)	2 (100.0%)	4 (57.1%)	1 (100.0%)	4 (44.4%)	2 (100.0%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	22 (61.1%)	14 (100.0%)	36 (72.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	1 (2.8%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)						
合計	1 (100.0%)	0 (-)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	36 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

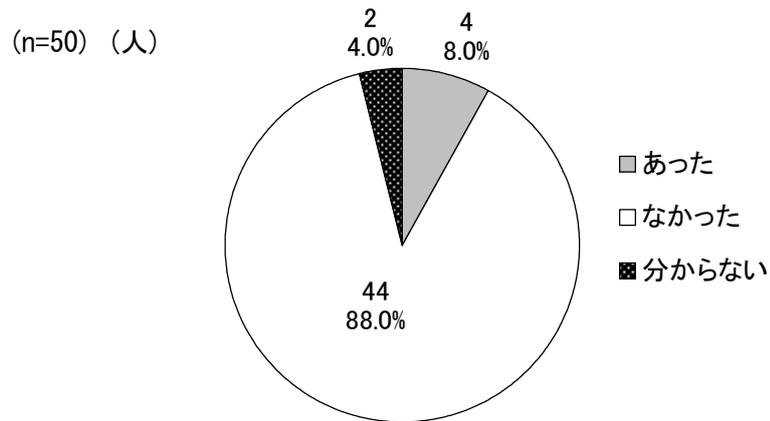
## 8) 預貯金の有無

亡くなられた時点での預貯金について、「あり」の方が23人(46.0%)、「なし」の方が15人(30.0%)であった。



### 9) 急激な資産の低下

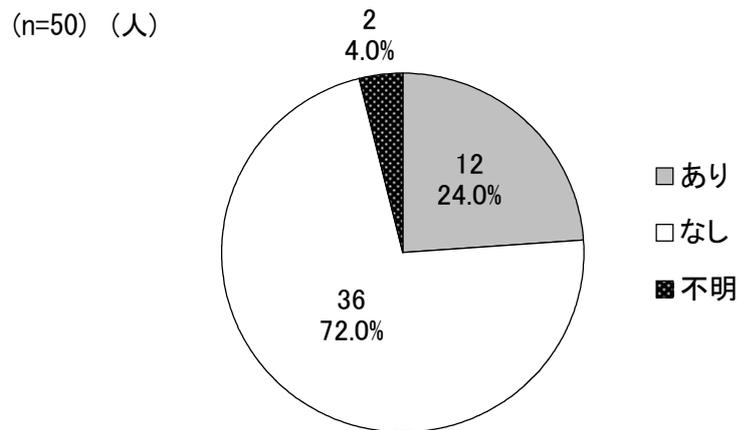
自殺に関連すると思われる、急激な資産の低下は、4人(8.0%)の方が「あり」であった。



### 10) 住宅ローンを除く借金の有無

住宅ローンを除いた借金、ローンの有無については、12人(24.0%)の方が「あり」であった。

女性では、「あり」は1人(7.1%)のみであったが、男性では、「50代」6人(66.7%)、「60代」2人(66.7%)で「あり」の割合が高かった。

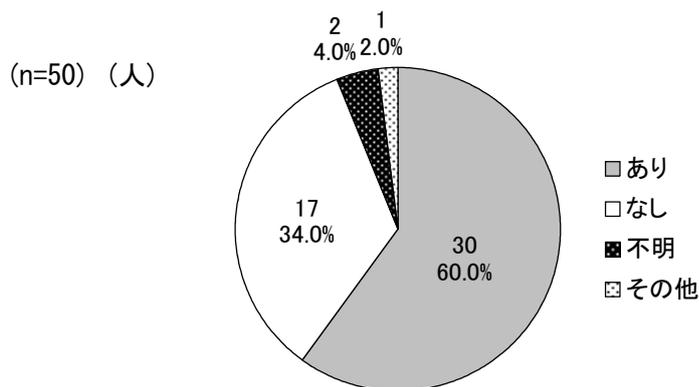


単位:人

n=50	年代・性別														全体		
	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		総数		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
あり	0 (0.0%)	0 (-)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	6 (66.7%)	1 (50.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	11 (30.6%)	1 (7.1%)	12 (24.0%)
なし	1 (100.0%)	0 (-)	8 (88.9%)	4 (80.0%)	5 (71.4%)	2 (100.0%)	6 (85.7%)	1 (100.0%)	3 (33.3%)	1 (50.0%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	24 (66.7%)	12 (85.7%)	36 (72.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	1 (2.8%)	1 (7.1%)	2 (4.0%)						
合計	1 (100.0%)	0 (-)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	36 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

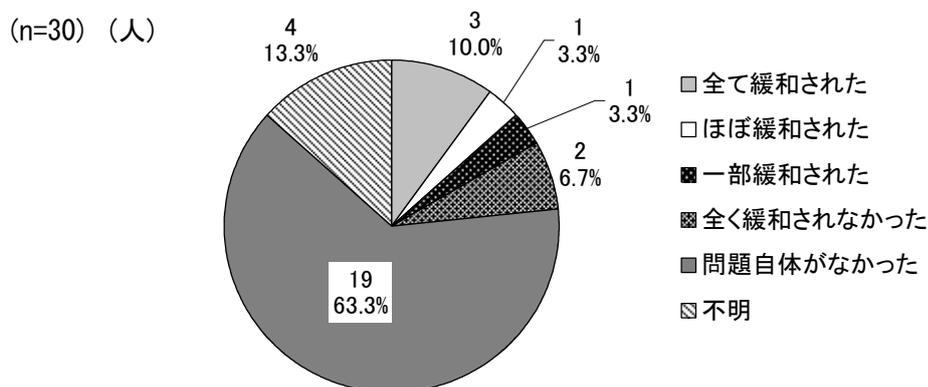
### 1 1) 生命保険加入の有無

生命保険の加入については、30人（60.0%）の方が加入していた。



### ■生命保険の加入「あり」の場合の状況

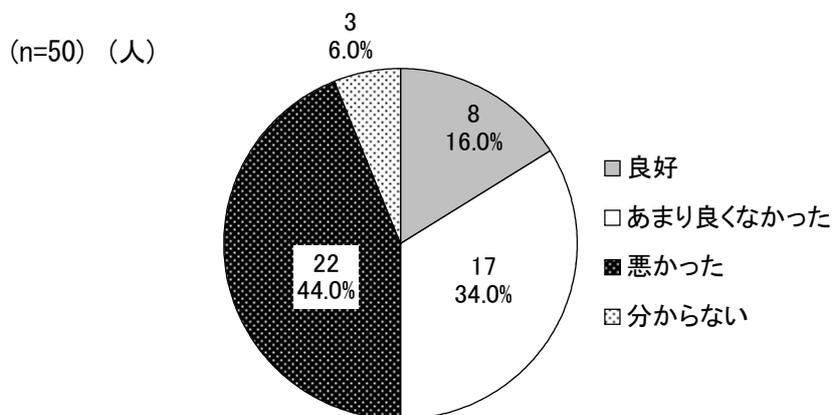
生命保険に加入している場合に、生命保険で経済的な問題が緩和されたかどうかについては、「全て緩和された」「ほぼ緩和された」「一部緩和された」が併せて5人（16.6%）であり、「問題自体がなかった」は19人（63.3%）であった。



### (3) 生活の様子

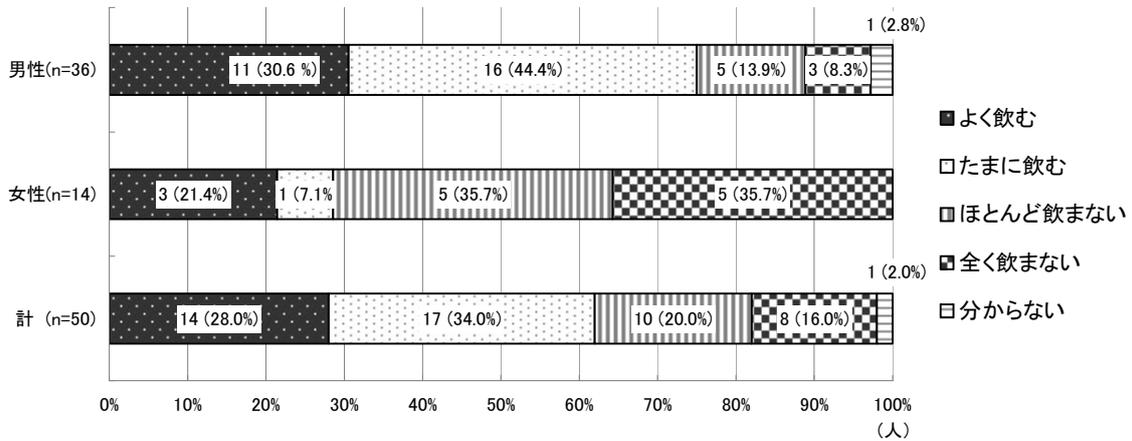
#### 1) 亡くなる前の体調

亡くなる前の故人の体調については、「悪かった」方が22人（44.0%）で最も多く、次いで「あまり良くなかった」方が17人（34.0%）であった。



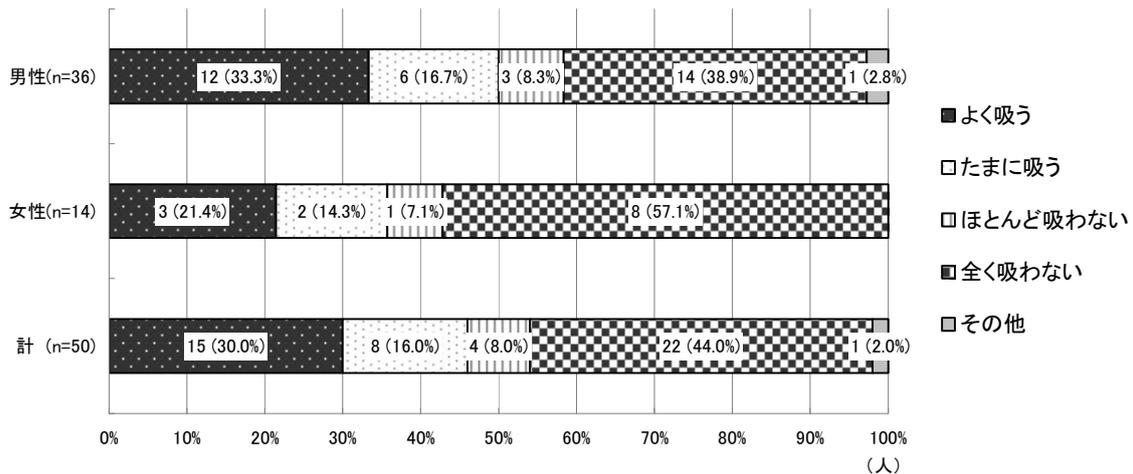
## 2) 飲酒の頻度

飲酒の頻度については、「たまに飲む」方が最も多く 17 人 (34.0%)、「よく飲む」方が 14 人 (28.0%)、「ほとんど飲まない」方が 10 人 (20.0%) であった。



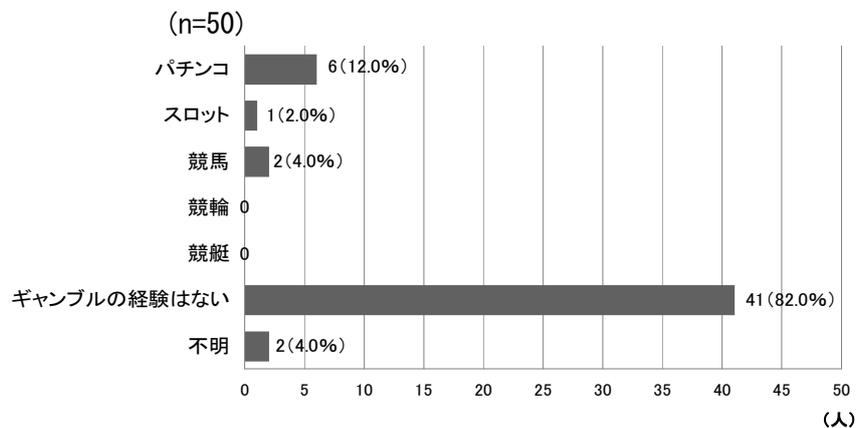
## 3) 喫煙の頻度

喫煙の頻度については、「全く吸わない」方が最も多く 22 人 (44.0%) で、次いで「よく吸う」方が 15 人 (30.0%)、「たまに吸う」方が 8 人 (16.0%) であった。



## 4) ギャンブルの経験

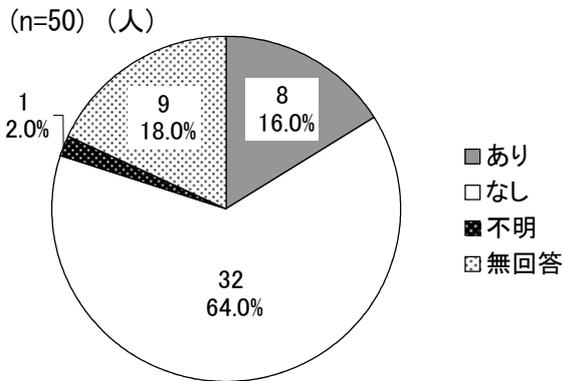
ギャンブルの経験については、「なし」の方が 41 人 (82.0%)、「あり」の方は 7 人 (14.0%) であった。



※複数回答

### 5) 被虐待の経験

被虐待の経験について、「あり」の方は8人（16.0%）であった。  
男女別にみると、女性は「あり」の方が5人（35.7%）と多かった。



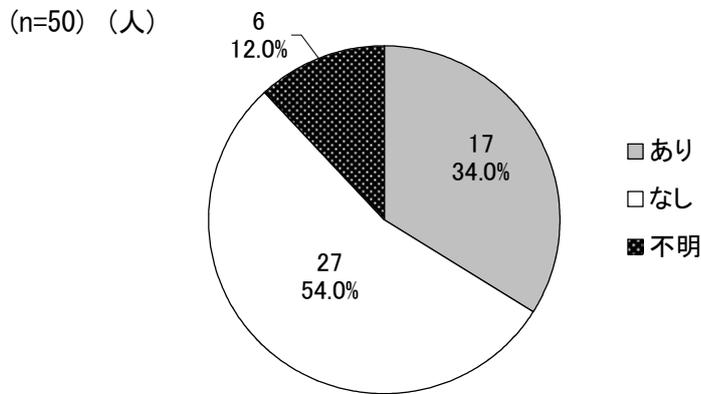
単位:人

n=50	被虐待の経験				全体
	あり	なし	不明	無回答	総数
男	3 (8.3%)	24 (66.7%)	1 (2.8%)	8 (22.2%)	36 (100.0%)
女	5 (35.7%)	8 (57.1%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	14 (100.0%)
合計	8 (16.0%)	32 (64.0%)	1 (2.0%)	9 (18.0%)	50 (100.0%)

### 6) 自殺未遂の経験

生前の自殺未遂の経験について、「あり」の方は17人（34.0%）、「なし」の方は27人（54.0%）であった。

20代、30代においては、自殺未遂の経験「あり」の割合が比較的高かった。



単位:人

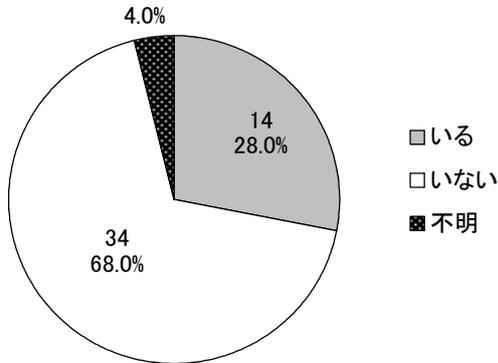
n=50	年代・性別														全体		
	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		総数		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
あり	1 (100.0%)	0 (-)	3 (33.3%)	2 (40.0%)	3 (42.9%)	1 (50.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	1 (50.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	12 (33.3%)	5 (35.7%)	17 (34.0%)
なし	0 (0.0%)	0 (-)	5 (55.6%)	1 (20.0%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	6 (85.7%)	0 (0.0%)	7 (77.8%)	1 (50.0%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	22 (61.1%)	5 (35.7%)	27 (54.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (-)	1 (11.1%)	2 (40.0%)	1 (14.3%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	2 (5.6%)	4 (28.6%)	6 (12.0%)
合計	1 (100.0%)	0 (-)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	36 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

## 7) 身内で自殺で亡くなった人の有無

故人にとっての身内の方で、自殺で亡くなった方の有無について、「いる」方は 14 人 (28.0%) であった。

身内で自殺で亡くなった方がいる方は、その半数以上が、自らの自殺未遂の経験も「あり」であった。

(n=50) (人)



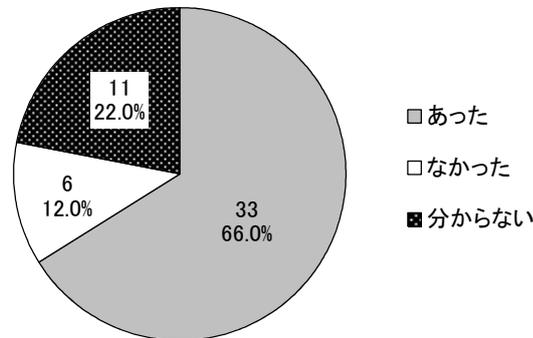
n=50	自殺未遂の経験			単位: 人
	あり	なし	不明	全体 総数
身内に自殺者あり	9 (64.3%)	5 (35.7%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)
身内に自殺者なし	7 (20.6%)	21 (61.8%)	6 (17.6%)	34 (100.0%)
不明	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
合計	17 (34.0%)	27 (54.0%)	6 (12.0%)	50 (100.0%)

## (4) 直前の変化 (亡くなる 2 週間前の状況)

### 1) 何か変わった様子の有無

亡くなる 2 週間前の状態について、何か変わった様子が「あった」方が 33 人 (66.0%) と多く、「なかった」方は 6 人 (12.0%) であった。

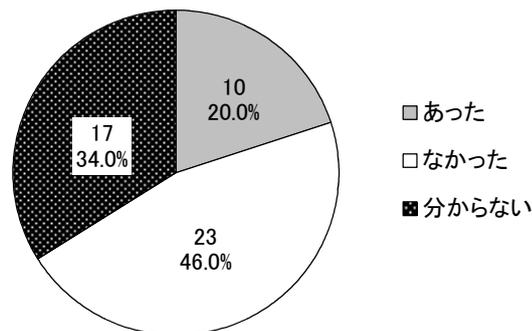
(n=50) (人)



### 2) 自殺に関する情報への関心

亡くなる 2 週間前に、自殺に関する情報への関心が、「あった」方が 10 人 (20.0%) で、「なかった」方は 23 人 (46.0%) であった。

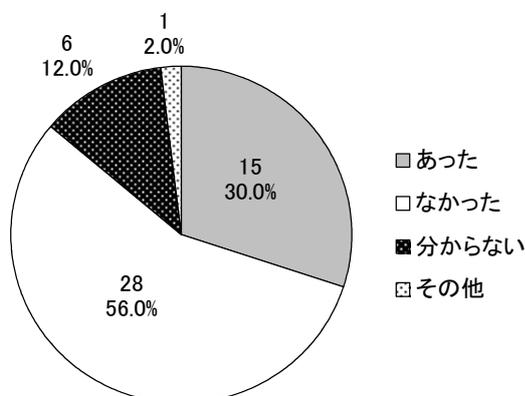
(n=50) (人)



### 3) 身辺整理

生前の身辺整理について、「あった」方は15人(30.0%)で、「なかった」方は28人(56.0%)であった。

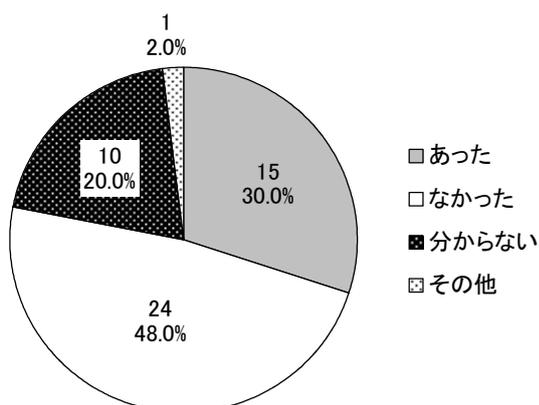
(n=50) (人)



### 4) 身体症状の変化について

亡くなる2週間前に身体症状の変化が、「あった」方は15人(30.0%)で、「なかった」方は24人(48.0%)であった。

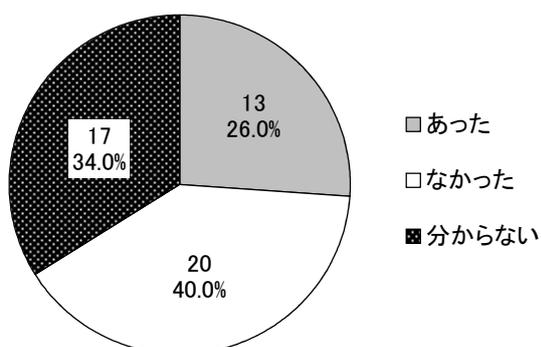
(n=50) (人)



### 5) 食事に関わる様子の変化の有無

食事の量や時間など、食事に関わる様子の変化について、「あった」方は13人(26.0%)で、「なかった」方は20人(40.0%)であった。

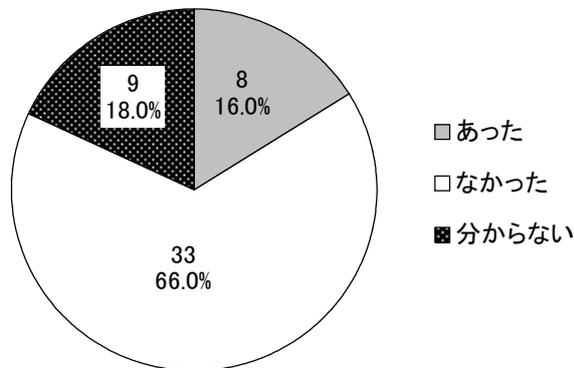
(n=50) (人)



### 6) 飲酒に関わる様子の変化の有無

飲酒の量や頻度など、飲酒に関わる様子の変化について、「あった」方は 8 人 (16.0%) で、「なかった」方は 33 人 (66.0%) であった。

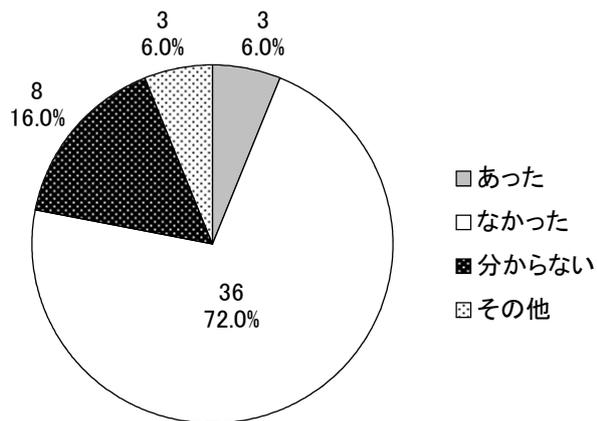
(n=50) (人)



### 7) 喫煙に関わる様子の変化の有無

喫煙の頻度など、喫煙に関わる様子の変化について、「あった」方は 3 人 (6.0%) で、「なかった」方は 36 人 (72.0%) であった。

(n=50) (人)



### 8) 睡眠の変化

睡眠の変化については、「あった」方は 18 人 (36.0%) で、「なかった」方は 13 人 (26.0%) であった。

(n=50) (人)

